

2025年3月期 第3四半期 決算説明会

FISCAL YEAR MARCH 2025 THIRD QUARTER FINANCIAL RESULTS



MAZDA CX-50 HYBRID

2025年2月7日
マツダ株式会社

本日の説明内容

- **財務実績と見通し総括**
- **2030経営方針の進捗**
 - ― **企業価値向上に向けた取り組み**

注：本資料において当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

決算総括

■ 2025年3月期 第3四半期累計実績

- グローバル販売台数：96万6千台 / 売上高：3兆6,894億円
営業利益：1,483億円 / 当期純利益：906億円
- ブランド価値経営の着実な実践により、米国・メキシコ市場の年間販売台数は過去最高を更新
CX-50やラージ商品の躍進により北米ビジネスは力強い成長
- 新商品導入と商品力強化により、計画通り2Qをピークに販売奨励金を抑制

■ 2025年3月期 通期見通し

- 利益見通しは11月公表値を据え置き、為替前提を見直し
中国市場の販売見通しを修正
- グローバル販売台数：133万台 / 売上高：5兆円
営業利益：2,000億円 / 当期純利益：1,400億円

2025年3月期 第3四半期累計 実績

2025年3月期 第3四半期累計 台数実績

(千台)	2025年3月期		
	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計
生産台数※	603	307	909
グローバル販売台数			
日本	64	38	102
北米	304	159	464
欧州	89	41	130
中国	34	24	58
その他市場	139	74	213
合計	630	336	966
米国	213	111	324
オーストラリア	50	23	72

対前年増減			
第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	
+10	-28	-18	-2%
-18	0	-18	-15%
+53	+30	+84	+22%
-1	-4	-5	-4%
-11	-4	-15	-20%
-10	+1	-9	-4%
+14	+23	+37	+4%
+29	+20	+49	+18%
0	-2	-2	-3%

2025年3月期 第3四半期累計 財務指標

(億円)	2025年3月期		
	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計
連結出荷台数 (千台)	590	312	902
売上高	23,939	12,955	36,894
営業利益	1,030	453	1,483
経常利益	835	733	1,568
当期純利益	353	553	906
売上高営業利益率	4.3 %	3.5 %	4.0 %
EPS (円)	56.1	87.6	143.7
為替レート (円)			
USDドル	153	152	153
ユーロ	166	163	165
タイバーツ	4.27	4.49	4.34
メキシコペソ	8.49	7.60	8.19

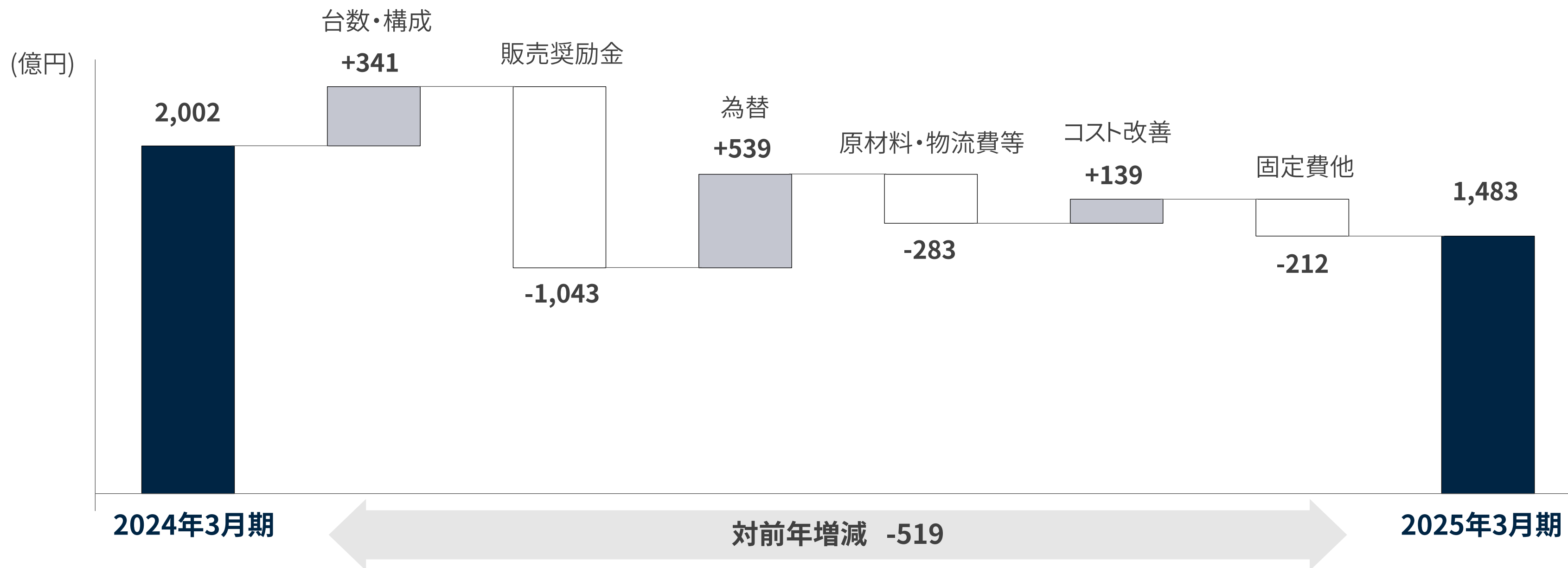
対前年増減			
第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	
+2	+12	+14	+2%
+766	+463	+1,229	+3%
-266	-253	-519	-26%
-957 *	+135	-822 *	-34%
-728 *	-21	-749 *	-45%
-1.3 pts	-2.2 pts	-1.6 pts	
-115.5	-3.5	-119.0	
+12	+5	+9	
+13	+4	+10	
+0.22	+0.33	+0.26	
+0.36	-0.82	-0.04	

キャッシュ・フロー及びネット・キャッシュ

(億円)	2024年3月期	2025年3月期
	第3四半期累計	第3四半期累計
営業キャッシュ・フロー	2,100	1,435
投資キャッシュ・フロー	-893	-704
フリー・キャッシュ・フロー	1,207	731

(億円)	2024年3月期	2025年3月期	対前期末増減
	期末	第3四半期末	
現金及び現金同等物	9,193	10,653	+1,460
有利子負債	5,678	6,798	+1,120
ネット・キャッシュ	3,515	3,855	+340
総資産	37,918	39,671	+1,753
自己資本	17,376	17,937	+561
自己資本比率	46 %	45 %	-1 pts

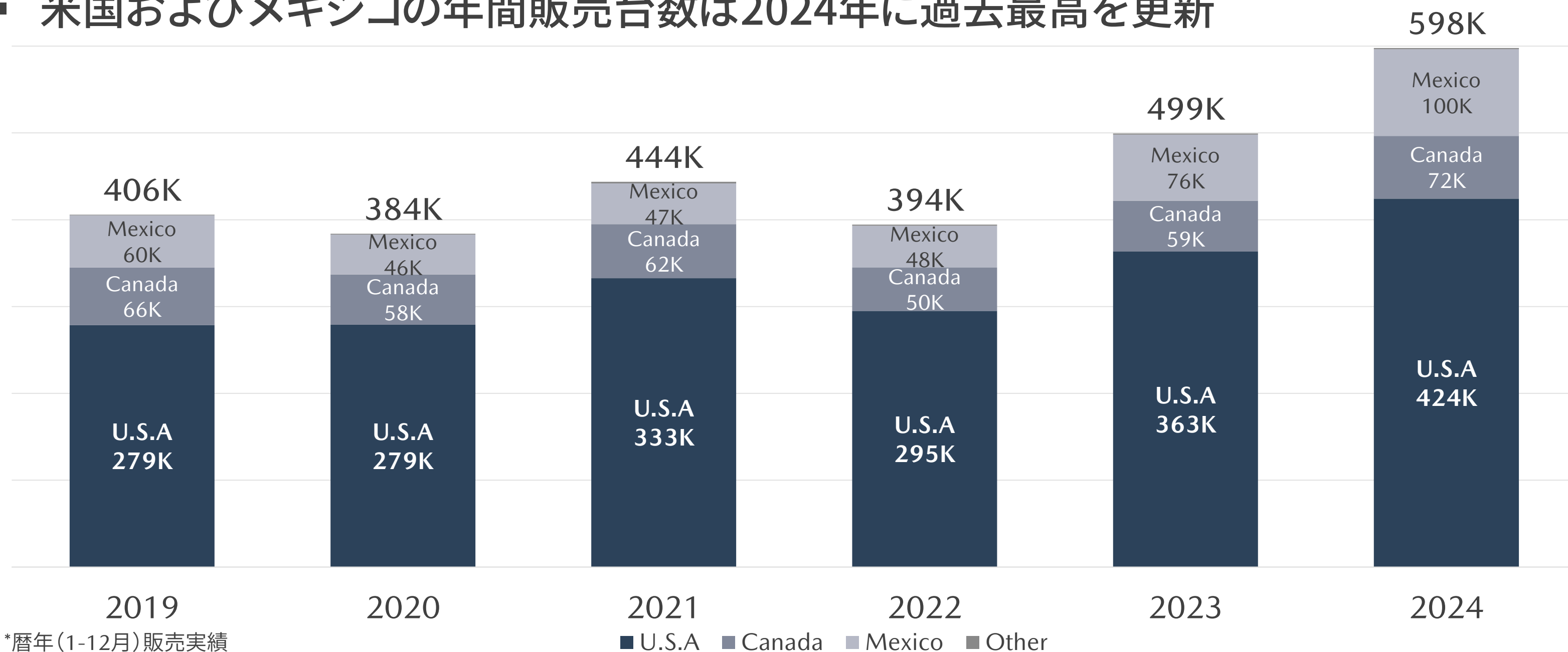
2025年3月期 第3四半期累計 営業利益変動要因(対前年比較)



台数・構成	+341	為替	+539	原材料費・物流費等	-283	固定費他	-212
台数構成・価格	+342	USD	+206	原材料費	-209	研究開発費	-152
その他	-1	EUR	+150	物流費	-74	減価償却費	-27
		AUD	+117			品質関連費用	+60
		THB	-123			広告宣伝費	-79
		MXN	+6			その他	-14
		その他	+183				

北米ビジネスの成長

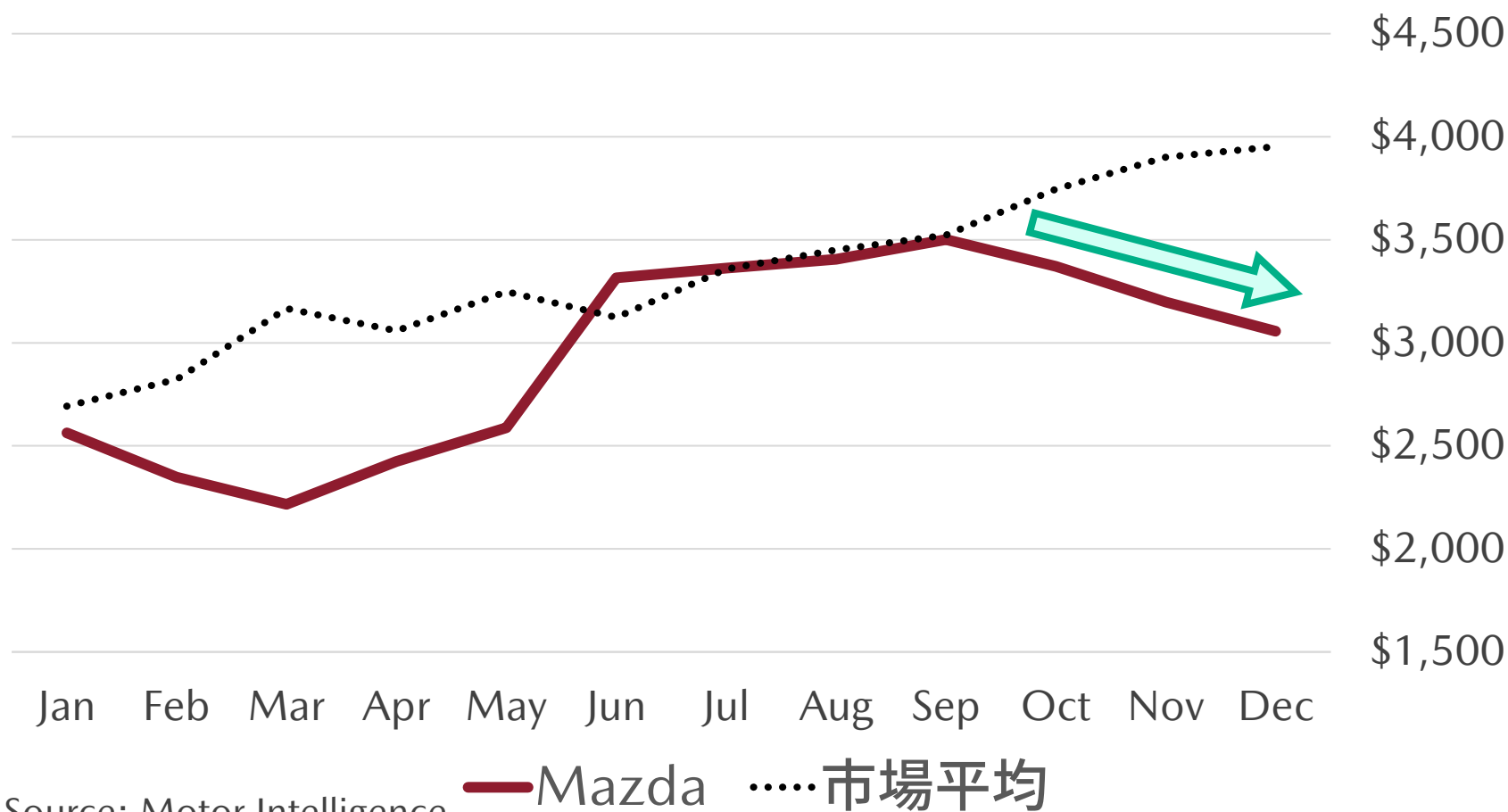
- 北米市場では、ブランド価値経営の取り組みにより力強いビジネス成長を継続
米国をはじめ、カナダ・メキシコにおいても顧客体験に軸をおいた販売ネットワーク強化が進捗
- CX-50やCX-90/CX-70など市場のニーズに適した商品導入により台数成長を加速
- 米国およびメキシコの年間販売台数は2024年に過去最高を更新



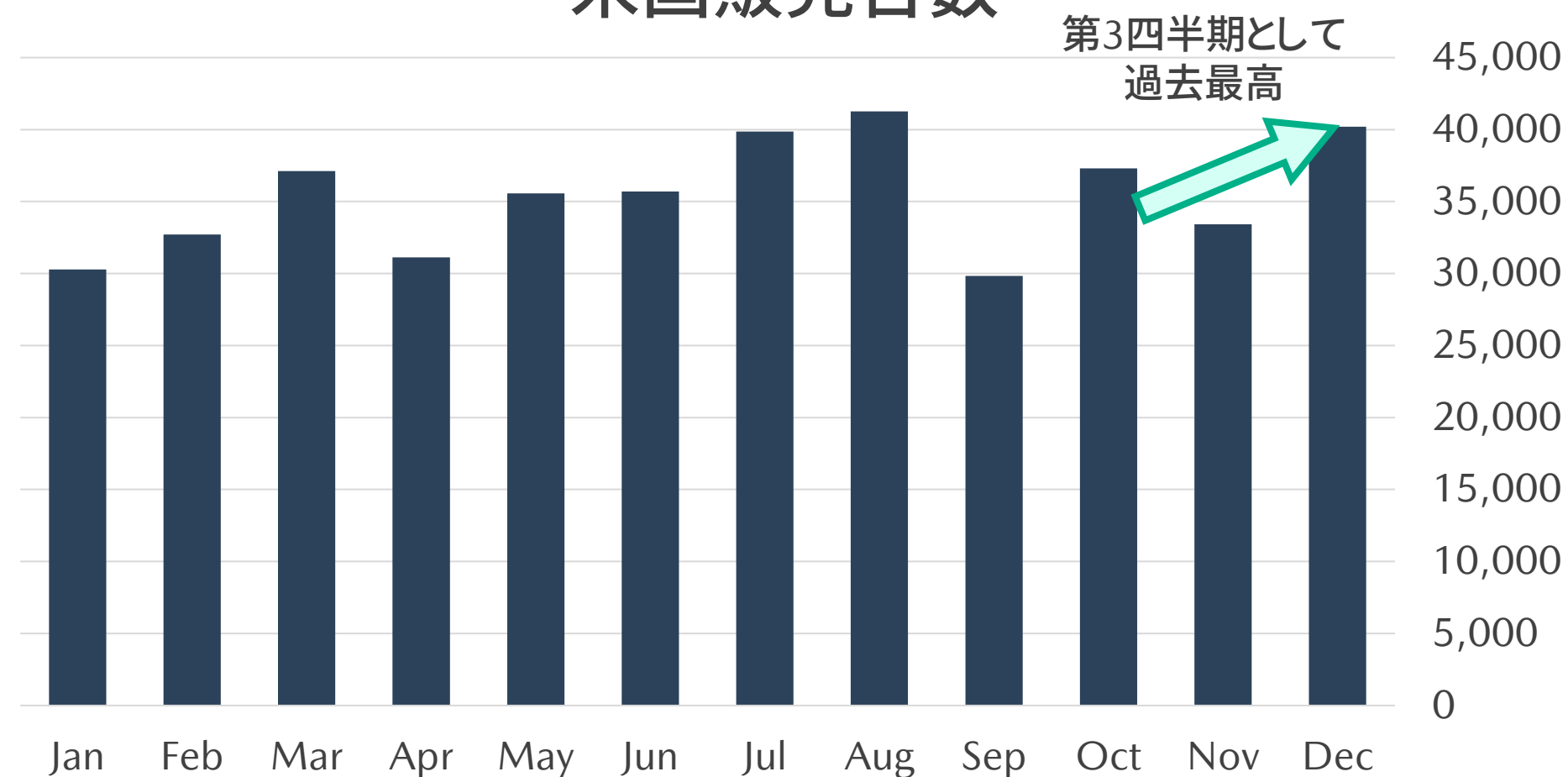
米国ビジネスの質的・量的成長

- マツダは9月をピークとして、第3四半期以降、販売費用を抑制
CX-50HEVの導入やモデルイヤー切替時の商品力強化によるコントロールが奏功
- 販売奨励金をコントロールしながら着実なトップライン成長を継続
3Q/CY2024いずれも過去最高の販売を達成

米国販売奨励金



米国販売台数



Source: Motor Intelligence

— Mazda 市場平均

2025年3月期 通期見通し

2025年3月期 通期 台数見通し

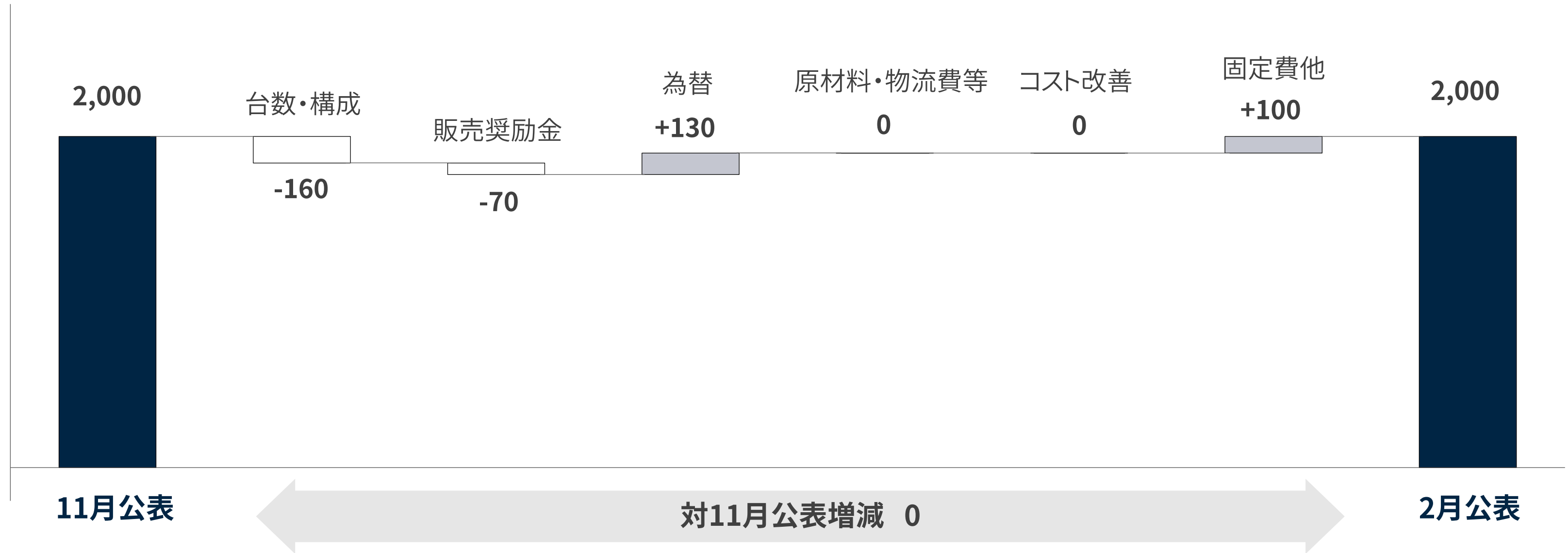
(千台)	2024年3月期	2025年3月期	対前年増減		対11月公表増減
	通期	通期	通期		通期
グローバル販売台数					
日本	160	150	-10	-6%	0
北米	514	605	+91	+18%	0
欧州	180	183	+3	+2%	0
中国	97	78	-19	-20%	-20
その他市場	289	314	+25	+9%	0
合計	1,241	1,330	+89	+7%	-20
米国	375	450	+75	+20%	0
オーストラリア	98	106	+7	+7%	0

2025年3月期 通期 財務指標

(億円)	2024年3月期	2025年3月期	対前年増減		対11月公表増減
	通期	通期	通期		通期
連結出荷台数 (千台)	1,202	1,250	+48	+4%	0
売上高	48,277	50,000	+1,723	+4%	0
営業利益	2,505	2,000	-505	-20%	0
経常利益	3,201	1,900	-1,301 *	-41%	0
当期純利益	2,077	1,400	-677 *	-33%	0
売上高営業利益率	5.2 %	4.0 %	-1.2 pts		0 pts
EPS (円)	329.6	222.1	-107.5		0
為替レート (円)					
USD	145	153	+8		+4
ユーロ	157	164	+7		+1
タイバーツ	4.11	4.36	+0.25		+0.10
メキシコペソ	8.35	8.03	-0.32		+0.02

2025年3月期 営業利益変動要因(対11月公表比較)

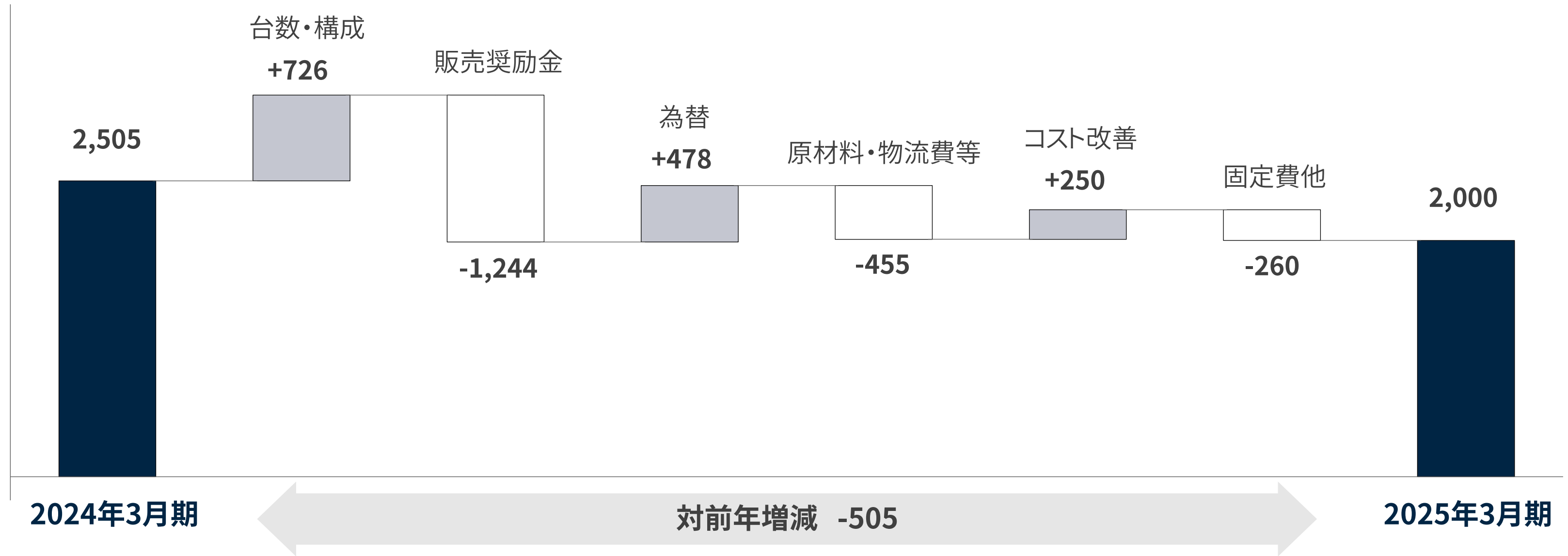
(億円)



台数構成	-160	為替	+130	原材料費・物流費等	0	固定費他	+100
台数構成・価格	-60	USD	+146	原材料費	-	研究開発費	-
その他	-100	EUR	+6	物流費	-	減価償却費	-
		AUD	+27			品質関連費用	-
		THB	-66			広告宣伝費	-
		MXN	-10			その他	+100
		その他	+27				

2025年3月期 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



台数構成	+726	為替	+478	原材料費・物流費等	-455	固定費他	-260
台数構成・価格	+632	USD	+242	原材料費	-444	研究開発費	-137
その他	+94	EUR	+141	物流費	-11	減価償却費	-17
		AUD	+119			品質関連費用	+66
		THB	-159			広告宣伝費	-48
		MXN	-7			その他	-124
		その他	+142				

2030経営方針の進捗

—企業価値向上に向けた取り組み

コスト低減に向けた取り組み

- 今後の環境変化に備え、サプライチェーン全体のコストを、固定費/変動費の両面からゼロベースで見直し
車種収益率の改善を行いつつ、固定費を圧縮し、損益分岐点の引き下げを図る
- お客様価値に沿った適正コスト実現に向け、原価企画機能を抜本的に見直し
次期CX-5種類数60%削減に向けた活動は計画通り進捗
他車種への展開および現行のエンジン種類数の大幅な削減についても検討中
- 2025年4月1日付役員人事異動で新たに「コスト低減統括役員」を設置
コストガバナンス体制を整え、2027年3月期までに3%/1,000億円レベルの原価低減および業務の徹底見直しによる固定費削減を目指す

トップラインの成長…ラージ商品群

- CX-70・CX-80を今期導入
- PHEVを含む電動化技術を採用し、高い環境安全性能を具備
各国で高い安全性評価(米国IIHS、Euro NCAP)を獲得



- ラージ商品群第3弾 2列シートワイドボディミッドサイズSUV
 - 2024年4月 北米市場へ導入
 - 2024年10月 豪州市場へ導入
- 米国IIHSの2024年安全性評価では最高評価のTop Safety Pick+を獲得。マツダは全ブランド中最多のTSP+を獲得



- ラージ商品群第4弾 3列シートミッドサイズSUV
 - 2024年10月 欧州・日本・豪州市場へ導入
- Euro NCAPの2024年安全性評価では最高評価の5つ星評価およびBest in Class(ラージSUVクラス)を獲得

電動モデルラインアップの拡充 …アライアンスの活用

- パートナー企業とのアライアンスを最大限活用し、市場のニーズに応じた電動モデルを順次導入
- マツダらしい走る喜びをお届けしながら、環境規制の厳格化に効率的に対応



MAZDA CX-50

- トヨタ自動車のハイブリッド技術を活用
 - 2024年11月 ハイブリッドモデルを北米市場へ導入
- トヨタ自動車との合弁工場「Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc.」(米国アラバマ州)にて生産



MAZDA EZ-6

MAZDA6e



- 中国のパートナーである長安汽車の技術を活用
 - 2024年10月 MAZDA EZ-6を中国市場へ導入
 - 2025年夏 MAZDA6eを欧州市場に導入予定
- 現地合弁会社「長安マツダ」にて生産

バッテリーEV生産体制の構築

- パナソニックエナジー社より調達する電池セルのモジュール・パック工場を山口県岩国市に建設
- 生産能力は年間10GWh。2027年度に操業開始予定
- EV専用プラットフォームを採用するバッテリーEVへ搭載予定



クロージング

- **ブランド価値経営の実践と、CX-50やラージ商品の躍進により、北米ビジネスは計画通りの成長
お客様視点のブランド価値改善とネットワークの強化を継続**
- **2025年3月期通期利益見通しは、11月公表値を据え置き**
- **電動化の取り組みは着実に進捗
パートナー企業とのアライアンスも最大限活用**
- **固定/変動コスト削減と資本コストを意識した経営資源配分の最適化を通じ、ビジネス成長と持続的な企業価値向上を目指す**



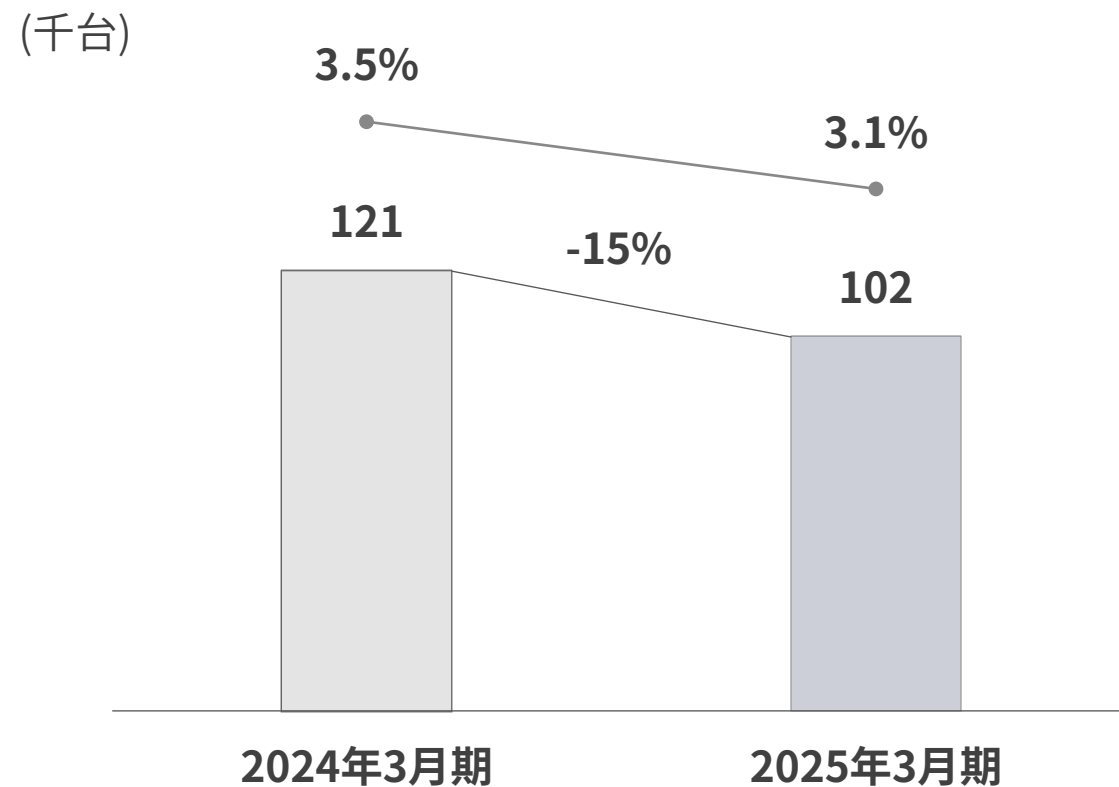
mazda

添付



- 対前年15%減の10万2千台を販売
- CX-8生産終了などの影響により販売台数減少
- 2024年12月にロードスターの商品改良と35周年記念車を発表。同月にMAZDA2、MAZDA3、CX-30、CX-5の新機種を発売。いずれも受注は好調に推移

第3四半期累計 販売台数・シェア

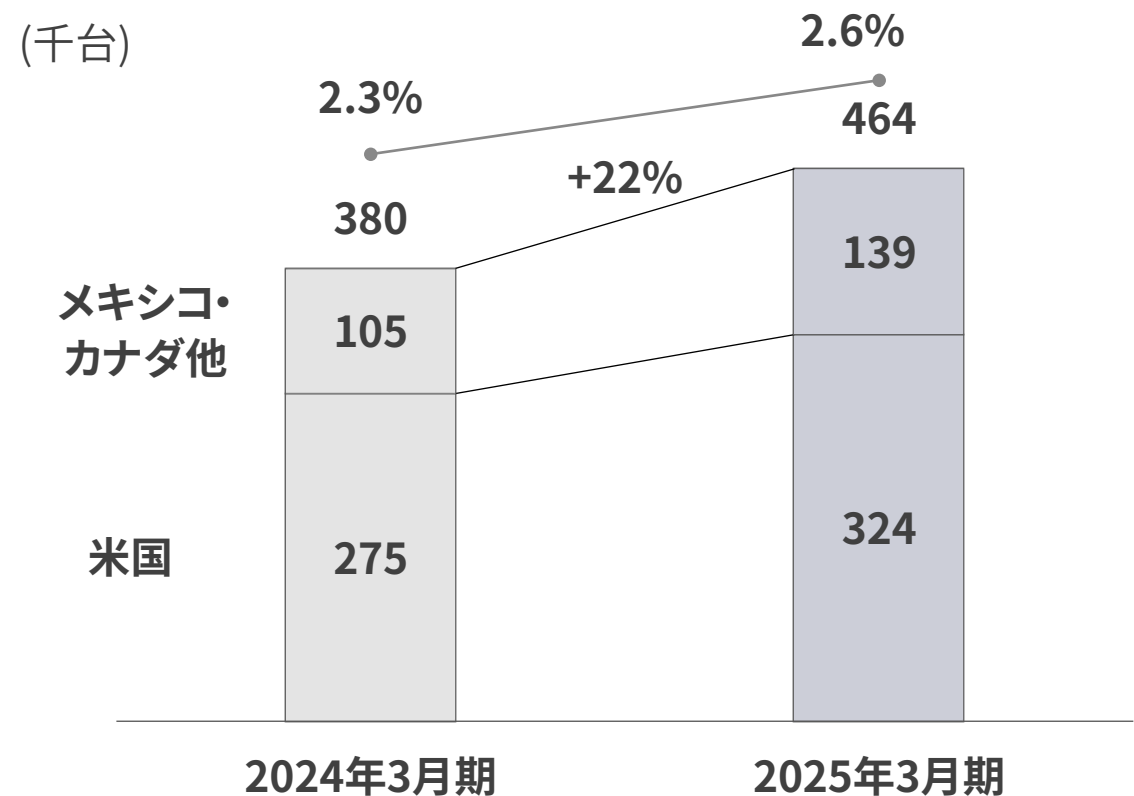


- シェアは対前年0.4pts減の3.1%
登録車シェアは同0.8pts減の3.6%
- 通期販売見通しは対前年6%減の15万台

北米



第3四半期累計 販売台数・米国シェア

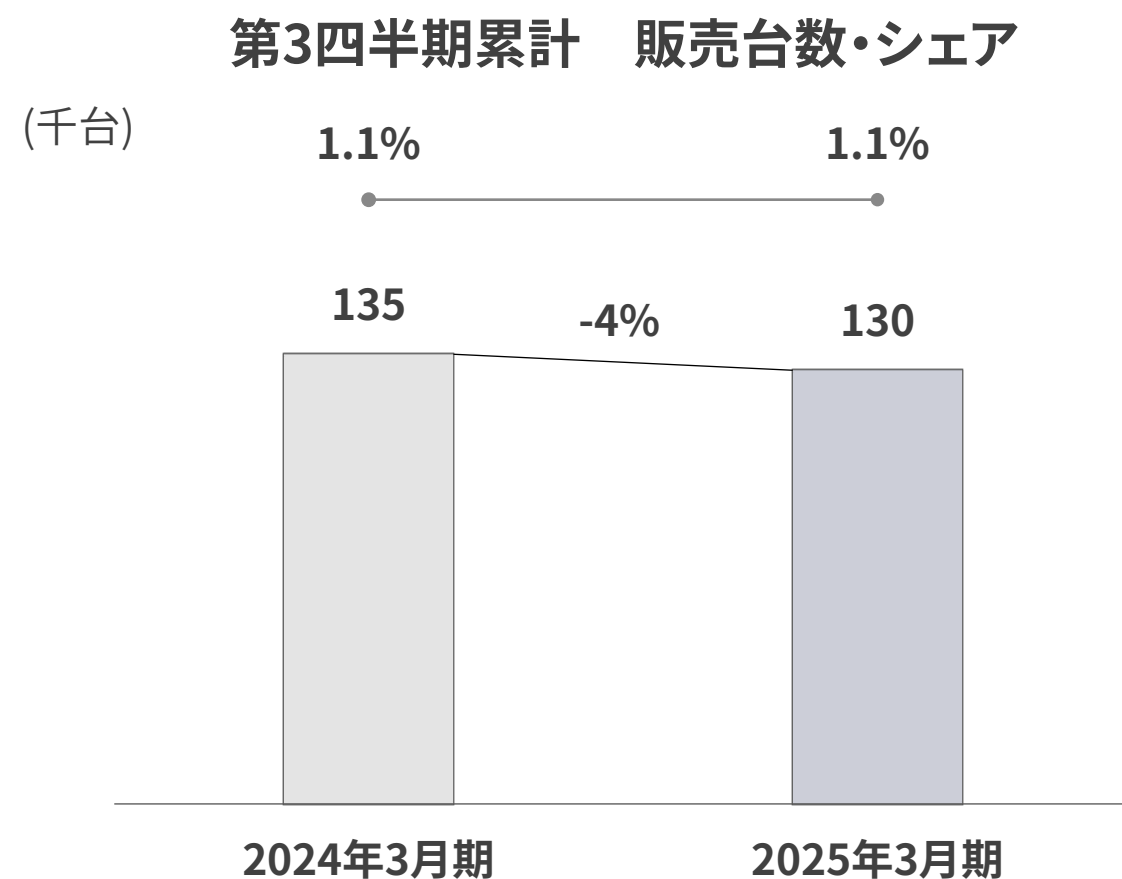


- 対前年22%増の46万4千台を販売。
- 米国:
 - 対前年18%増の32万4千台を販売
シェアは対前年0.3pts増の2.6%
 - 第3四半期累計として過去最高の販売台数を達成
CX-50とCX-90が台数増を牽引
 - 年次改良を通じた商品強化により販売費用を抑制
 - 2024年11月よりCX-50ハイブリッドモデルを発売
- メキシコ:
 - 対前年40%増の8万台。過去最高の販売を達成
- カナダ:
 - 対前年24%増の5万9千台
- 通期販売見通しは対前年18%増の60万5千台

欧州



- 対前年4%減の13万台を販売
- シェアは前年同水準の1.1%
- 主要国の販売
 - ドイツ:対前年2%減の3万4千台
 - 英国:対前年4%減の2万1千台
- 10月よりCX-80の販売を開始。電動車需要に応えるプラグインハイブリッドモデルを中心に堅調な販売
- 新型バッテリーEV「MAZDA6e」の欧州導入を発表。2025年夏の発売を予定
- 通期販売見通しは対前年2%増の18万3千台

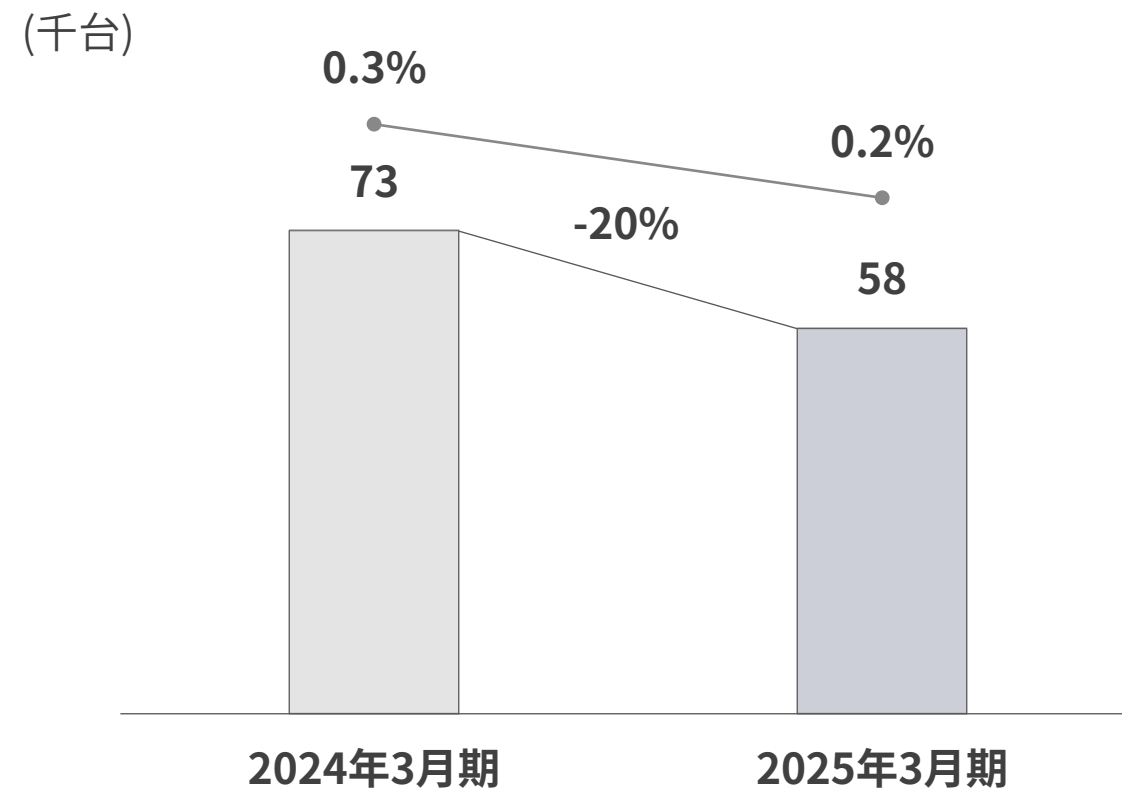


中国



- 対前年20%減の5万8千台を販売
- シェアは対前年0.1pts減の0.2%
- 内燃機関車需要の縮小により販売台数減少
- 10月より電動専用モデルMAZDA EZ-6を発売。2種類の電動パワーユニット（BEV/REEV）と先進スマート技術を搭載
- 通期販売見通しは対前年20%減の7万8千台

第3四半期累計 販売台数・シェア

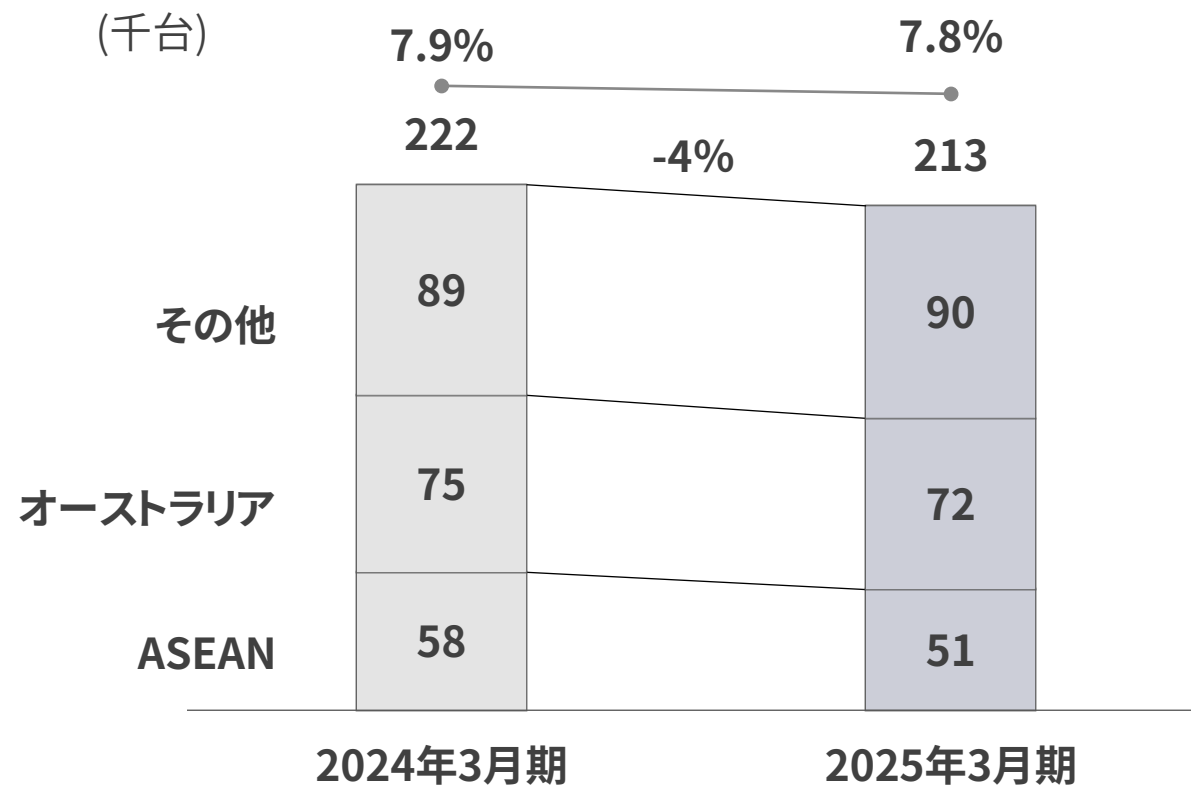


その他市場



- 対前年4%減の21万3千台を販売
- オーストラリア:
 - 対前年3%減の7万2千台を販売
 - CX-9・CX-8生産終了、一部車種での受注獲得苦戦の影響などにより販売台数が減少
 - CX-3が過去最高の年間販売台数を達成
 - 11月よりCX-70・CX-80を本格発売、ラージ4車種フルラインアップの販売を展開
- ASEAN:
 - 対前年13%減の5万1千台を販売
 - タイ:対前年44%減の7千台
 - ベトナム:対前年14%増の2万7千台
 - マレーシア:対前年29%減の1万台
- 通期販売見通しは対前年9%増の31万4千台

第3四半期累計 販売台数・豪州シェア



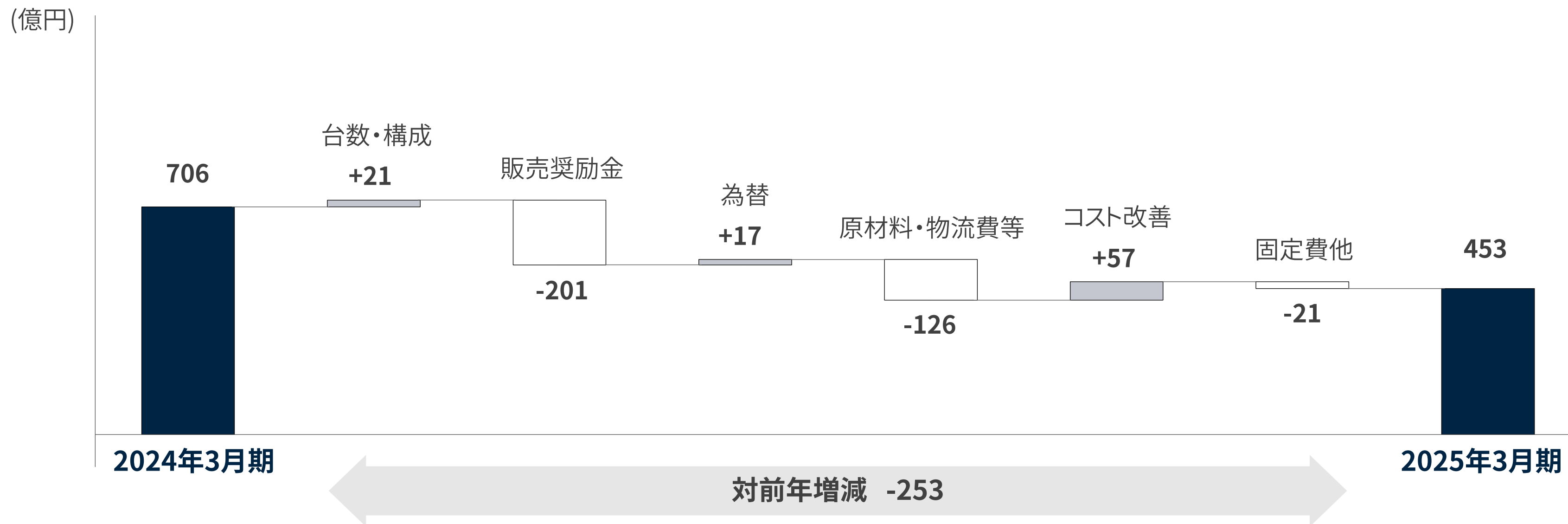
2025年3月期 第3四半期 台数実績

(千台)	2024年3月期		2025年3月期		対前年増減	
	第3四半期		第3四半期		第3四半期	
生産台数※	335		307		-28	-8%
グローバル販売台数						
日本	39		38		0	-1%
北米	129		159		+30	+24%
欧州	45		41		-4	-8%
中国	28		24		-4	-15%
その他市場	73		74		+1	+1%
合計	313		336		+23	+7%
米国	91		111		+20	+22%
オーストラリア	25		23		-2	-9%

2025年3月期 第3四半期 財務指標

(億円)	2024年3月期	2025年3月期	対前年増減	
	第3四半期	第3四半期	第3四半期	
連結出荷台数 (千台)	300	312	+12	+4%
売上高	12,492	12,955	+463	+4%
営業利益	706	453	-253	-36%
経常利益	598	733	+135	+23%
当期純利益	574	553	-21	-4%
売上高営業利益率	5.7 %	3.5 %	-2.2 pts	
EPS (円)	91.1	87.6	-3.5	
為替レート (円)				
USDドル	148	152	+5	
ユーロ	159	163	+4	
タイバーツ	4.15	4.49	+0.33	
メキシコペソ	8.42	7.60	-0.82	

2025年3月期 第3四半期 営業利益変動要因(対前年比較)

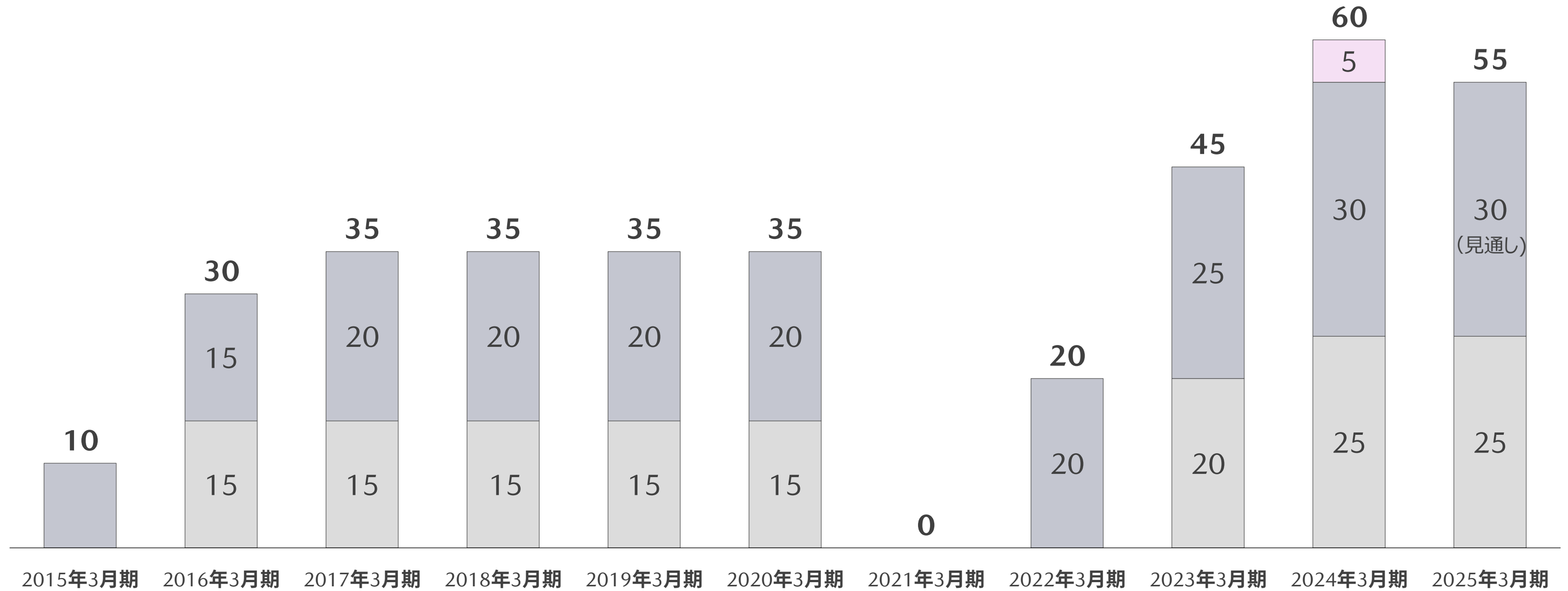


台数・構成	+21	為替	+17	原材料費・物流費等	-126	固定費他	-21
台数構成・価格	+138	USD	+37	原材料費	-107	研究開発費	-75
その他	-117	EUR	+14	物流費	-19	減価償却費	-3
		AUD	+23			品質関連費用	+149
		THB	-54			広告宣伝費	-6
		MXN	-13			その他	-86
		その他	+10				

配当について

1株当たり配当金 (円)

■ 中間 ■ 期末 ■ 特別



為替レート(期中平均)

(円)	2025年3月期				対前年増減				対11月公表増減
	1Q	2Q	3Q	通期	1Q	2Q	3Q	通期	通期
USDドル	156	150	152	153	+18	+5	+5	+8	+4
ユーロ	168	164	163	164	+18	+7	+4	+7	+1
カナダドル	114	110	109	110	+11	+2	0	+3	+1
オーストラリアドル	103	100	100	100	+11	+6	+3	+5	+1
英ポンド	197	194	195	195	+25	+11	+12	+13	+3
タイバーツ	4.25	4.29	4.49	4.36	+0.26	+0.18	+0.33	+0.25	+0.10
メキシコペソ	9.06	7.93	7.60	8.03	+1.27	-0.55	-0.82	-0.32	+0.02

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。